



絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

賞状が出ないことで一番になろう！

～2学期始業式の校長講話より～

約40日間の夏休みを終え、子どもたちが学校に戻ってきました。1校時は2学期の始業式でした。校長講話では、夏休み中の振り返りと2学期の目標を持つことについて話しました。

まず子どもたちに夏休みの思い出について尋ねました。

きょうから2がっき

もくひょうをもつ

ボランティアのひとたちにまなぶ

じぶんからすすんでこうどうする。
なかまとちからをあわせる。

「夏休みに楽しい思い出が1つはあったという人？」

大勢の子たちの手が上がりました。

次に夏休み中のできごとの中から、猛暑の日々、大雨による災害、復旧のために大きな力となったボランティアの方々について紹介しました。

「自分から進んで行動する人、他者や世の中のために無償で（タダで）行動する人をボランティアと言います。」

そして、最後に本題の2学期の目標について話しました。

「ボランティアの方々の自分から進んで行動すること、同じ気持ちで集まった人たちと力を合わせる。皆さんも学んで欲しいと思います。2学期は1年の中で一番長い学期です。9/11の体育祭、10/29のしおかぜ集会など大きな行事があります。目標を持って行事に取り組むことも大

きょうから2がっき



だいじなのは
にじょうのせいかつです。



しょうじょうがでないことで、
いちばんをめざす。

使用したスライドの一部

切ですが、もっと大切なのは行事で学んだことを普通の毎日に生かすことです。行事で学ぶことは人それぞれだと思います。努力することの大切さ、仲間と力を合わせて大きなことをやり遂げること、5・6年の人たちならリーダーとしての心構えなどです。行事は1日しかありませんが、普通の生活は毎日あります。大事なものは日常の生活なのです。賞状が出ないところで一番を目指してください。イラストにある給食当番、授業中の発表などだれでも一番になれることがあると思います。みなさん一人一人が賞状が出ないところで一番を目指すようになれば、河野小学校はもっと素敵な学校になるでしょう。2学期もがんばりましょう。」

【新任教職員の紹介】

8月から産休に入った東出萌教諭に代わり、宮川瑞希講師が本校のスタッフに加わりました。2年生の学級担任、図書に関する業務などを担当します。